

東建パブリニュース

2019年8月30日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2019年8月25日 日本住宅新聞 P. 8

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

最高級ステンレスキッチン「セスパ」リニューアル カウンター天板に国内初の新柄3色を採用

東建コーポレーションのグループ会社で建材製品などの製造を行っているナストラック(株)(名古屋市、左右田善猛社長)はこのほど、高品質な18-8ステンレスをキャビネットに使用した最高級ステンレスキッチン「セスパ」をリニューアル。日本に初輸入されたクォーツストーンの新柄を、国内キッチンメーカーでは初めてワークトップ(天板)に採用した。

素材は、大理石の街とよばれるイタリアのヴェローナに拠点をもつサンタマルゲリータ社製。同社の素材は現在、世界70カ国以上で採用されている。日本国内でも、羽田空港の国内線ターミナルや東京ビッグサイトの床など建材にも多く採用されている。

クォーツストーンは、約90%が水晶成分からなり、天然石の質感・美しさはそのままだ、耐久性や耐水性もあることから、近年注目されている素材のひとつ。従来、表面は平坦

な仕上げのものだけだったが、同社では2016年に導入した最新技術で、独特な凹凸感のあるクォーツストーンを製品化。今回の採用は3色で、「ブルカノ」は火山の山肌のような大胆なうねり柄、「メトロポリ

ス」の2色は惑星の表面をを思わせる、いずれも他に類を見ないテクスチャーとなっている。

そのほか、ワークトップ以外にも、人気のあるドイツのミーレ社製の食洗機、アメリカのコーラー社製クォーツシンクなど、海外トップメーカーの素材や設備も採用している。



以上